

令和3年1月28日

看護学部学生および別科助産専攻学生のご家族の皆様

沖縄県立看護大学  
学長 嘉手苺英子

日頃より、本学の教育にご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。

昨年から流行が始まりました新型コロナウイルス感染の勢いは収まらず、社会活動への影響が今年に入っても続いております。特に、宮古島においては医療の逼迫が報じられており、感染の早期の終息を心より願っております。

さて、沖縄県立看護大学では、感染が拡大していく中で、大学の方針として'どのような状況においても教育を中断しない'を掲げ、授業を行って参りました。感染の状況に応じて、学内での対面授業とオンラインでの遠隔授業の組み合わせや、学年ごとの分散登校を実施し、感染のリスクを最小にするよう工夫しながら、教育を継続しております。現在は、緊急事態宣言を受け、可能な限りオンライン授業で行い、学生の方々が大学へ立ち入る機会を少なくしております。

現在、学部の1・2年生は後学期の授業が間もなく終了し、2月中旬には期末試験があります。3年生は、例年ですと臨地実習が行われている学期ですが、今年度は病院等の現場での実習がほとんどできず、学内又は自宅での遠隔授業により実習に替わる授業を行っております。全国の看護系大学がこのような状態に直面しており、相互に情報交換をしながら教育方法の工夫に取り組んでいるところです。4年生は、授業科目は全て終了し、2月11日～14日に実施されます看護師・保健師・助産師の国家試験に備え学習しております。4年生に関しましては、感染防止対策を講じたうえで附属図書館の閲覧室を開放しています。別科の学生も同じく、指定された教室で、助産師の国家試験に向けた学習に取り組んでおります。

ご家族の皆様におかれましては、例年以上に気がかりなことが多いことと思いますが、学習や学生生活に関するご相談やご質問、大学へのご意見等がございましたら、学生担当教員や窓口事務(学務課)までご遠慮なくお申し出いただければと存じます。

この困難な状況を、学生やご家族の皆様、教職員で共に協力して乗り越えて参りたいと存じますので、今後ともご理解とご協力をいただきたくよろしくお願い申し上げます。